

平成 19 年 7 月 6 日

各 位

会 社 名 マルカキカイ株式会社  
 代表社名 代表取締役社長 釜江 信次  
 (コード番号 7594 東証・大証各第一部)  
 問合せ先 取締役兼常務執行役員管理本部長  
 森 康明  
 (TEL 072 - 625 - 6551)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 1 月 11 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 19 年 11 月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 12 月 1 日 ~ 平成 19 年 5 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	23,312	-	1,339	702	-
今回修正予想 (B)	21,020	1,003	1,156	598	64 円 93 銭
増減額 (B - A)	2,292	-	183	104	-
増減率 (%)	9.8	-	13.7	14.8	-
前期(平成 18 年 11 月中間期) 実績	22,077	1,145	1,202	692	77 円 95 銭

2 平成 19 年 11 月期個別中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 12 月 1 日 ~ 平成 19 年 5 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,823	-	1,005	559	-
今回修正予想 (B)	14,693	610	825	463	50 円 23 銭
増減額 (B - A)	3,130	-	180	96	-
増減率 (%)	17.6	-	17.9	17.2	-
前期(平成 17 年 11 月中間期) 実績	16,447	784	840	492	55 円 44 銭

3 平成 19 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 12 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	47,573	-	2,730	1,472	160円27銭
今回修正予想（B）	46,912	2,275	2,483	1,293	139円20銭
増減額（B - A）	661	-	247	179	-
増減率（%）	1.4	-	9.1	12.2	-
前期（平成 18 年 11 月期）実績	45,199	2,388	2,548	1,406	155円72銭

4 平成 19 年 11 月期個別通期業績予想数値の修正（平成 18 年 12 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	37,000	-	2,083	1,206	131円30銭
今回修正予想（B）	33,951	1,443	1,900	1,114	119円93銭
増減額（B - A）	3,049	-	183	92	-
増減率（%）	8.2	-	8.8	7.6	-
前期（平成 18 年 11 月期）実績	34,567	1,600	1,839	1,086	120円22銭

5 業績予想修正の理由

今上期の受注は、産業機械部門、建設機械部門ともに計画通り昨年同期を上回って順調に推移しましたが、メーカーの受注増による長納期化が当社からユーザーへの納期の下期以降来期へのズレ込みを招き、また一部自動車関連ユーザーの設備計画の先延ばし等から、産業機械部門の国内とアジアの売上高は年初計画を下回る見通しであります。建設機械部門もクレーン等の主力商品の売上が、メカ-の納期が予想以上に伸びていることにより計画を下回る見通しであります。

これにより、中間の連結の業績は、子会社マルカアメリカの売上が日系企業向けの売上増加等により計画を上回ったことや円安効果等のプラス要因はあるものの、売上高は年初予想比 9.8%減、経常利益で同比 13.7%減、当期純利益で 14.8%減になる見込であります。又、単独の業績は売上高で年初予想比 17.6%減、経常利益で同比 17.9%減、当期純利益で同比 17.2%減となる見込であります。

下期は上期に積み上がった受注が売上に転化することから上期実績を売上高、利益ともに大幅に上回る見込であり、通期業績は年初予想比小幅の減少に止まる見込であります。

以上

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。